

# 東日本巨大地震緊急支援

## 毎月の住宅ローンの一部を 無償補助金としてご支給いたします。

このコーナーは一定の条件にあてはまるお客さまに、生活リズムの不整脈を和らげる目的で、住宅ローンの一部を無償でご支給するものです。

**融資ではありません。無償支給ですので、返金の必要はありません。**

### <基本対象>

当社にて家づくりをしてくださったお客さま

### <ご支給の対象とさせていただく内容>

平成 23 年 東日本巨大地震の影響による景気後退で、下記の内容に該当する方

- 合算年収 600 万円以下で、給与が 10%以上カットされた方
- 津波被害により、ご夫婦のどちらかが、失職してしまった方
- 年間返済負担率が 20%以上になってしまった方

### <ご支給金額>

- 毎月 MAX 30,000 円/人 (MAX 返済負担率 20%以下)
- 当社としての予算枠 毎月 MAX 設定せず

(予算枠上限を設定しない期間は、東日本巨大地震に関して 2 年間といたします)。

東日本巨大地震は未曾有の災害です。当社が存在出来ている間、当社役員の役員報酬をカットしてでもお支えいたします。

### <ご支給期間>

基本的にお申し込み月から 1 年間とし、その後のお客さまの収入回復状況と、当社の景気状況で、延長か終了かをご相談させていただきます。

### <お申し込み方法>

お気軽に、「メール」 または 「お電話」 にてご連絡ください

【 今回の意味合いにつきまして 】

平成 23 年 3 月に・・・1000 年に 1 度という、未曾有の巨大地震が起きました。  
被災された皆さまには、心からご冥福をお祈りいたします。

私も、地震翌日のカーナビテレビを見て、沿岸地域の災害の光景に頭が真っ白になりました。  
OB のお客様は大丈夫か・・・お打ち合わせ中のお客様は大丈夫か・・・  
OB さまの家は流されていないだろうか・・・進行中の現場は大丈夫だろうか・・・  
そして、経営者として、会社は経営の津波に飲み込まれないのだろうか・・・  
いろいろな不安で、寒気がしました。

被災地への一般車両開通と同時に、救援物資を山積みして、被災地へ安否確認のために行き、  
テレビとは違う、現実の被災の迫力に、夢でも見ているような感じもしました。

1 軒 1 軒、ドキドキしながらお客様の家をご訪問。

大船渡市・釜石市・石巻市・名取市・・・大津波の被害に見舞われたお客さま含めて、ご本人さまご家族・住まいが、九死に一生を得るかたちでご無事が確認できました。多くの方が、ギリギリの線で命をつなぎとめた方で、お話しを聞いただけで寒気がいたしました。ご親族の方には被災されて命を落とされた方もおりますし、会社が流されて失職する可能性がある方もいらっしゃいましたので、心から喜べる状況ではありませんが、この大災害の中で、1 つでも明るいことを見つけて前に進まないといけない・・・という思いにもなりました。

お客さま強運に助けられる形で、当社も経営の大きな津波は回避できるかと思えます。建材物資が入らず、現場の進捗が読めない現状では、まだまだ予断は許しません・・・が、会社が生きていれるだけプラスと考え、被災されて、収入面で経済的な津波に巻き込まれそうな OB さまへの支援をしたいという企画です。

すでに、大船渡地区のお客さまには、対象になる方も出てきておりますが、当社取締役の役員報酬を大幅にカットしてでも、この経済の津波が落ち着くまでお支えしていきたいと思えます。平成 23 年 3 月より、すでに役員報酬は大幅カットして、災害支援の準備しております。

○ 私の「お金」感 ーその 1ー

私は学校教育の中で「お金」という性質についても学んでこなかったため、人生いろいろと苦労する事もありましたが、曲がりなりにも会社を経営して 10 年目に入っております。基本的には無借金経営で、地味～に安定しております（常に低空飛行です）。

そんな中で、私なりに「お金」というものについて、その「性質」や「扱い方」について考える時間も多く、私なりの哲学的なものも自然と身につくようになって来ました。

お金とは、誰のものなのか・・・と考えることもあります。

哲学にもいろいろとあるのですが、その中の1つに、お金とは「必要以上に貯めるのではなく、社会がリズム良く動くために、適正な形で、適正に社会にまわす」という事です。

お金とは不思議なものです。

同じお金なのに「まとまった形で生きる」場合と、「分散された形で生きる」場合があると感じております。

「まとまった形で生きる」社会還元として当社では、次世代資金というコーナーを設けております。大きな行動をとるときに、どうしてもまとまった形のお金が、「助け」になると思っているためです。

このような社会還元も、会社が健全な状態でないと出来ないことなのですが、当社は、理解あるお客さまに恵まれているため、基本的に適正な経費（利益）をいただきながら家づくりをさせていただいております。

ただ、10年間の中では、先の仕事が見えなくて気持ちが重くなった事も、何度かありました。

そのようなときにいつも思わされたのが、毎月リズム良く経費が見込める状態が、なんて精神的に幸せなのだろう・・・という事です。そのリズムが狂った期間は、精神的に不安定になり、まさに不整脈のような感じを受けます。

これは、家計においても同じ事だと思います。

そのため、現在の急激な景気後退で、家計のリズムに影響が出ている当社OBのお客さまがいた場合、リズム回復までのサポートをする目的で、今回の「分散された形で生きる」社会還元を行うものです。この目的では、「まとまった形」は不適合ですので、毎月、一定金額を送金する「分散された形」でリズム回復を行いますのでよろしくお願い致します。

昨今の住宅業界は、入り口価格を安く見せて引き込んで、最終的にオプションや諸費用で大幅に吊上げて、年収の6～7倍もの無理な融資組みをさせて家売る。無理な融資組みをさせておきながら、その人が家を手放すときは、お客さまの自己責任・・・と言って、手のひらを返す。

「家」というものを「媒体」にして、金儲けだけを考えている、全国展開のパワービルダーが多すぎるような気がします。悲しいかな・・・それが、現在の住宅業界の腐った一面です。

当社にとって、当社で家づくりをしてくださったお客さまは、ある意味「株主」であると考えております。お客さまが存在しなければ当社は存在できていなかったのが当然といえば当然です。

家を建てて終わり・・・ではなく、そのお客さまが、リズム良く暮していただくことも、小さい住宅会社の1つの役目ではないか・・・とも思っております。

そういういろいろな思いをもった今回の緊急企画ですので、当社の経営バランスが崩れない範囲で、サポートできればと思います。遠慮なく、ご応募ください。